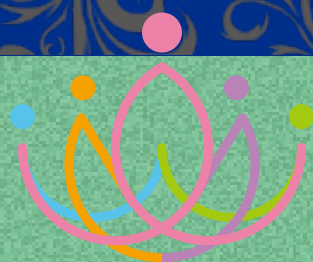


備後教区報

第178号

2022(令和4)年7月15日



ご縁を慶び、お念仏とともに

CONTENTS

- ◇教務所長挨拶
- ◇公聴会
- ◇新役員
- ◇特集「日野誕生院の由縁」
- ◇News & 活動情報
- ◇予報・インフォメーション

親鸞聖人御誕生

50
立教開宗
800



▲雪景色の日野誕生院

日野誕生院の由縁
(5頁～7頁)

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要特集①
立教開宗800年



就任にあたって

岡寄秀恵 教務所長



4月1日付をもちまして、備後教区教務所長、本願寺備後教堂主管を拝命いたしました。

前任の宗派重点プロジェクト推進室部長を経て、このたび御地にご縁を賜りましたこと有難く存じますとともに、誠に身の引き締まる思いでございます。もとより浅学菲才の身でございますが、教区並びに教堂の護持発展とご法義繁盛のため、職責を全うすべく微力を尽くしてまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

本年は、「本願寺備後教堂寺号公称50周年」の節目の年を迎え、11月30日には記念法要を教堂報恩講法要に併せお勤めいたします。また、宗門では、明年3月29日から5月21日までの5期30日間にわたり、「親鸞聖人御誕生850年・

立教開宗800年慶讃法要」が本山・西本願寺にて厳修されます。さらに備後教区においては、同年10月に同慶讃法要が予定されることであります。このような重要な時期にあたり、あらためて職務の重大さを痛感いたします。

このうへは、専如ご門主様のご消息のお心を体し、慶讃法要の趣意書及び趣意・付帯事項を踏まえ、「ご縁を慶び、お念仏とともに」のスローガンのもと、備後教区の皆さまと一体となつてご法要の円成に向けて取り組んでまいりたいと存じます。

そして、この節目となるご法要を機縁として、備後教区のさらなる活性化に努めさせていただくとともに、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現をめざして、「御同朋の社会をめざす運動」に邁進してまいりたいと存じます。

皆様には、特段のご教導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、就任のご挨拶とさせていただきます。

合掌

退任挨拶

水上義乗 前教務所長



このたび、4月1日付で備後教区教務所長・備後教堂主管を退任することとなりました。

備後教区にお世話になつて二年間、長いようで短い在任期間であ

りました。とりわけ、新型コロナウイルス感染症の拡大により、行事開催すらままならない中ではございましたが、教区内有縁の皆様より多大なご厚情を賜りましたこと、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要も近づいております。この度の法要を機縁として、備後の地に益々お念仏の輪が広まりますこと念じつつ、退職のご挨拶とさせていただきます。

合掌

山下義円 宗会議員ご逝去

山下義円僧侶宗会議員（奥組浄福寺）が5月21日、ご逝去されました。享年72歳でした。ご生前のご苦勞を偲び、謹んで敬弔の意を表します。

「経歴Ⅱ宗会議員在職期間3期10年。副総務（平成24年12月20日～平成26年7月8日）。宗門伝灯奉告法要警備救護本部長並びに誘導整理本部長（平成29年3月3日～7月1日）。総務（平成30年4月5日～令和1年11月1日）」

2022(令和4)年度

公聴会



令和4年度公聴会がオンラインにて開催された。この度の公聴会は、会場の密を避け、参加機会を増やすため、2回開催となり、且つ自宅からのオンライン参加、また期間中の公聴会説明動画配信の視聴など、多くの方から意見提言を伺うべく開催された。

1. 「新たにめざす持続可能な
宗務組織を構築するための
具体策」

令和2年、外部専門機関による財務調査で、宗門の経常予算

は常態的に支出が超過するなかで、特別会計からの補填にて収支バランスを維持してきたが、現状のまま業務を継続すると仮定した場合、近い将来には特別会計の資金も枯渇してしまうとの報告がなされた。

宗門では、段階的な予算規模縮小をもって、収支バランスの正常化を図るとともに、中央組織の職制変更を見据えた合理的かつスリムな人事配置を行い、今後3割減を目標とした段階的な人員規模の縮小を図ることとなる。そのなかで、宗務の質を維持する総合的人事施策や、教務所長権限と責任領域の拡大、願記手続きの簡略化やDX推進等、短期・中期的具体策が説明された。

意見聴取では、本年度から配置された兼務教務所長について、また中央宗務機関と地方宗務機関の人事交流など、今後の取り組みについて意見があがった。

2. 「賦課基準の見直しについて(第2次答申)」

2021(令和3)年12月4日、宗門財政構想委員会より提出された「賦課基準の見直しについて(第2次答申)」の内容が説明され、参加者・視聴者より意見聴取を行った。2019年6月18日の中間答申にて、護持口数や門徒戸数に代わる新たな指数や寺院収入額に応じた賦課等、新たな賦課制度の方向性が示され、この度の第2次答申では、賦課基準のひとつに護持口数や門徒戸数に代わるものとして、寺院の収入額(収支計算書又は決算書をもととする「寺院収入報告書」)より一定率にて算出した額への賦課が提言されている。

意見聴取では、収入額への賦課に対する肯定的な意見や、その反対に支出額は考慮しない収入額のみでの報告に対する疑問や報告される収入額の正確性等、参加者からは様々な意見があ

がった。

今後は、この度の公聴会での意見聴取をもとに総局案が作成され、各種関係会議等での意見聴取を行ったのち、常務委員会での議決を経て、令和6年4月より新たな賦課基準の施行となる予定だ。

各法人からの県庁への書類提出期限は
7月31日です。

広島県の寺院 (電話 082-228-2111)

〒730-0011 広島市中区基町 10-52
広島県庁内 環境県民局 学事課

岡山県の寺院 (電話 086-224-2111)

〒700-8570 岡山市北区内山下 2-4-6
岡山県庁内 総務部 総務学事課

未提出の場合、10万円以下の過料処罰金が発生します。お忘れなきようご留意下さい。

新役員の紹介

実践運動教区委員会

委員長

教務所長

副委員長

御調西組

芦田組

中央委員

三谿組

常任委員

備中里組

鴨川組

沼隈西組

沼隈西組

三谿組

三谿組

比婆組

三次組

御調西組

委員

備中里組

中組

奥組

深津組

深津組

鴨川組

鴨川北組

沼隈南組

沼隈南組

芦田組

神石組

御調東組

御調東組

岡寄 秀恵

田坂 潤

立神 義昭

明浄寺

一條 博堂

立泉寺

佐々木龍生

龍華 直

赤柴 証悟

杉原 静子

近藤 映子

福岡 真也

藤井 義英

坂原 英見

安棟 信雄

田井 智彦

実相由紀子

大塚 裕玄

枝廣 大智

麻生 敏弘

龍華 佳穂

佐藤 秀信

箱田 義信

芳道

小倉 哲明

英俊

願生

敏行

御調西組 光徳寺 藤田 徹信
世羅組 了安寺 阿部 司苑
世羅組 照光寺 脇本 寿真
実践運動教区事業推進委員会

教務所長

副会長

奥組

三谿組

備中里組

備中里組

中組

奥組

鴨川組

鴨川北組

鴨川北組

沼隈西組

三谿組

比婆組

比婆組

三次組

三次組

御調東組

御調西組

世羅組

世羅組

世羅組

備中里組

中組

奥組

深津組

深津組

深津組

岡寄 秀恵

藤本 直樹

小武 正教

高橋 了融

佐々木龍生

河本 光行

大塚 裕玄

季平 芳照

龍華 直

吉岡 玲子

佐藤 秀信

松林 英水

高下 静夫

栗原 尚道

千代丸一明

小武 正教

坂原 英見

武田 大俊

小島 芳照

毛利 慶典

曾我 憲真

田口 竹子

佐藤 知水

藤本 直樹

光影

幹夫

幹夫

幹夫

沼隈西組 西明寺 赤柴 証悟
沼隈西組 浄泉坊 桜田 淑子
沼隈西組 万福寺 杉原 静子
沼隈南組 南光坊 季平 芳道
沼隈南組 西圓寺 平田 良雄
三谿組 照善坊 福岡 真也
比婆組 西教寺 藤井 義英
比婆組 勝光寺 渡邊 信樹
三谿組 常順寺 高樋 法明
三谿組 法光寺 季平 願生
御調東組 法光寺 國本 泰行
御調西組 専光寺 藤井 迎朋
御調西組 憲徳寺 安棟 信雄
中組 辻之坊 杉原 顯正
奥組 浄福寺 山下 瑞円
深津組 光圓寺 平山 智正
鴨川組 浄光寺 小林 朋行
鴨川北組 圓福寺 三條 義見
沼隈西組 万福寺 河村 祐昭
沼隈西組 大東坊 那須 智雄
芦田組 明浄寺 立神 義昭
芦田組 光明寺 千葉 隆誓
芦田組 慶照寺 田坂 英尊
神石組 金藏寺 杉原 秀晃
三谿組 専正寺 深水 顕真
御調東組 照源寺 久本 晃道
御調東組 永正寺 柿原 興乗
世羅組 浄楽寺 栗原 一乗
世羅組 照明寺 菅 治隆
世羅組 善行寺 真澄 慎一
教務所長 岡寄 秀恵副団長
備中里組 蓮乗寺 田井 智彦
深津組 光圓寺 平山 智正
三谿組 善照寺 安部 恵証
委員
中組 光栄寺 佐藤 知水
奥組 浄福寺 山下 瑞円
鴨川組 正覺寺 竹政 信至
鴨川北組 圓福寺 三條 義見
沼隈西組 大東坊 那須 智雄
沼隈南組 善正寺 那須 英信
芦田組 西法寺 川上 順之
神石組 法泉寺 長谷川憲章
三谿組 善徳寺 藤井 義英
比婆組 西教寺 福岡 玄猷
三谿組 源光寺 季平 博昭
御調東組 法光寺 高橋 格昭
御調西組 梅林寺 栗原 一乗
世羅組 浄楽寺 栗原 一乗
寺族婦人会連盟
委員
鴨川組 靈巖寺 龍華 佳穂
副委員長 光栄寺 佐藤 千早
中組 専光寺 藤井 紀子
御調西組 専光寺 藤井 紀子
三谿組 専正寺 深水 美樹
委員
備中里組 高蓮寺 塩田 洋子
奥組 西福寺 野口 公子
深津組 光行寺 苅屋真紀子
深津組 崇興寺 枝廣 和美
鴨川組 福泉寺 児玉 幸子
鴨川北組 光明寺 吉岡 洋子沼隈西組 善性寺 藤原 典子
沼隈西組 正藏坊 藤原 裕子
沼隈南組 宝光寺 明石美那子
芦田組 西法寺 龜山 照枝
神石組 光徳寺 相 真美
三谿組 善徳寺 長谷川さとみ
比婆組 勝光寺 渡邊 由美
比婆組 光縁寺 渡辺 京子
三谿組 高輪寺 吉田ユキエ
御調東組 法光寺 季平いづみ
御調東組 円龍寺 池上 典子
世羅組 正満寺 島津 智子
世羅組 浄楽寺 栗原 倫子
門徒推進員世話人会
代表
御調西組 憲徳寺 安棟 信雄
副代表
備中里組 正専寺 田口 竹子
御調東組 法光寺 國本 泰行
三谿組 明覺寺 高下 静夫
中組 香積寺 河本 光行
芦田組 西圓寺 平田 良雄
世話人
奥組 浄福寺 西家 昭二
鴨川組 正福寺 河崎美智子
沼隈西組 万福寺 杉原 静子
神石組 泉正寺 小林 元治
比婆組 妙延寺 竹岡 要
三谿組 西善寺 岩崎 照行
世羅組 正満寺 平田 淳治

日野誕生院の由縁

親鸞の誕生は未詳、本願寺に史伝・旧跡が無きと嘆かれていた



親鸞聖人の誕生は未詳である。京都のどこで幼少期を過ごしたのか、本格的な調査・考証がされたのは江戸時代の後半である。少なくとも覚如や存覚の時代には示寂した命日は知られていても誕生日は不明だったようだ。

宝永3年¹⁷⁰⁶に真宗高田派の普門が著した『絵伝撮要』で「承安三癸巳四月朔日ニ誕生」という説があらわれたのが宗祖の誕生日に関する初見という。典拠は親鸞門弟の順信が記した『下野ノ縁記』と示されているが、この書は現存していないため信憑性は乏しい。

日野誕生院。ここは宗祖親鸞聖人の誕生地として当時の建築様式で建てられた本願寺飛地境内である。江戸時代の旅ブームが起ったとき、真宗関係では蓮如、二十四輩の旧跡地を中心にめぐる人が出たが、宗祖の旧跡は未詳が多かったという。誕生850年を迎えるにあたり、日野誕生院を特集した。(敬称略)(文責・教区報専門委員)



親鸞幼少の絵像(日野誕生院蔵)

しかし、この4月1日誕生説は高田派良空の『親鸞聖人正統伝』⁽¹⁷¹⁷⁾に採用され、これが広く読まれたことで一般認識として定着した。正統伝に描かれる親鸞伝は「伝説の親鸞」というべき姿であるが、この影響もあつて各地で親鸞伝や絵伝が刊行され、なかには史実に基づかない談義本や偽板(海賊版)も多かったという。

しかし本願寺派の玄智は同派に史伝の見るべきもの無きを嘆き、明和二年⁽¹⁷⁶⁵⁾に『七祖伝』、安

永八年¹⁷⁷⁹に『宗祖覚如蓮如の三師伝』を刊行したが、やがて本願寺より実録編纂の命をうけて天明4年¹⁷⁸⁴に『本願寺通記』を刊行。巻一の宗祖聖人の伝には「父は大進日野有範、母は某氏 註に一云源氏とある。承安3年4月1日を以て生る」と、註に「順信の記に出ず」といい、本山も高田派の4月1日説を採用したようだ。

聖人御降誕地由縁

それでは、親鸞聖人誕生の地である日野誕生院は、いつから人に知られるようになったのか？

玄智が『非正統伝』を刊行して、正統伝の批判など考証も行われていた一方で、三業惑乱と呼ばれた異安心問題もおこった。

19代本如宗主は文化三年¹⁸⁰⁶に御裁断を示し十年に及ぶ騒動が決着されたが、この**文化年間**^(1804~1818)に本如の命で誕生地を調査させたのが日野誕生院の始まりだ。

調査をしたのは長州・常元寺の**聞歎**という学僧だ。考証を重ねて、その成果を『**聖人御降誕地由縁**』にまとめて本願寺に提出した。



▲日野の法界寺(写真は国宝 阿弥陀堂)

※法界寺には、親鸞の父・有範の祖父(宗光)の兄弟(実光)の日野家系譜が伝わっていた

これにより宗主も宗祖誕生地と認められたことで注目を集めた。由縁によれば「山城国宇治郡、山科の南に日野の里」と称される日野家伝領地があり、日野家氏寺である**法界寺**(真言宗)に聖人誕生の伝承があること、日野家系図や歴代宗主の関与なども手がかりとして考証を重ねたようだ。



▲『聖人御降誕地由縁』

(龍谷大学大宮図書館蔵)

日野有範の伝承

現在の誕生院から東に、日野家の廟所と伝えられる場所がある。

『降誕地由縁』によれば、ここに親鸞の父・日野有範の墓があり、

藤原内麻呂とその嫡男の真夏(この地を賜った日野家の祖)が三骨一廟におさめられているようだ。

有範の傍には親鸞と母・吉光女

の分骨もあるとされ、史実かどうかは不明ではあるが、有範は「安

元二丑⁽¹¹⁷⁶⁾5月18日卒去」と、「吉光禪尼治承四⁽¹¹⁸⁰⁾5月21日未詳」と石に銘され、親鸞4歳で父、8

歳のときに母と別れたという伝説に符号する形となる。

更には親鸞伯父の日野範綱や、覚信尼の夫で覚如祖父の日野広綱も、ここに埋葬されているという。

また法界寺に日野有範の木像や親鸞幼少の絵像が伝来されており、付随する伝承も多かった。

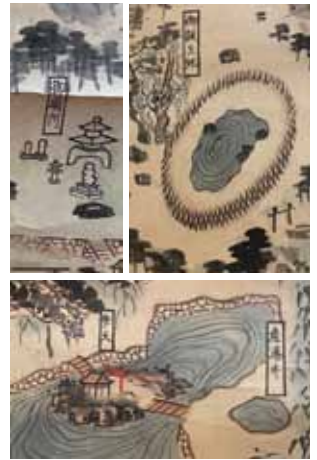
(例えば養和元年3月15日に親鸞が出家得度した等、稚児影像経緯など)

浄土真宗の流れを汲み、宗祖のみ跡を敬慕する者に



▶有範の木像

◀下図の拡大と『由縁』の説明



とつて貴重で、未だ知られていない史伝や伝承の宝庫であった。

顕彰活動と堂宇建立

宗祖の誕生地は、日野家別邸の御殿跡、内裏の芝と称されていたが、**広如**宗主の頃にそれら法界寺境内地の一部と法宝物を本願寺

が譲り受けることになった。

また誕生地を顕彰する運動が起り、降誕会の前身といえる誕生会

もこの頃から始まったようだ。

真宗の尼であり俳人として著名な**田上菊舎**も、聞歎から「宇治郡

日野郷は、聖人ご誕生の地で産湯

◀誕生院設立前の法界寺周辺絵図(常元寺蔵) ※地名は加筆



宗祖降誕生地 流風無量水
いく春も絶えぬ
うぶ湯の流れかな

長門菊舎

▶井戸近くには菊舎の句碑がある

の井戸もありながら堂宇がない。」と聞きおよび、顕彰活動と手助けに力を注いだ。菊舎は堂宇建立資金の一筆になればと書画の筆をと

り、およそ一年半の間に屏風6枚に書画六百数十枚を聞歎に送り、

頒布された代価(画料)は本願寺に寄付された。

菊舎の没後、文政11年¹⁸²⁸9月に

一字建立されて**有範堂**と名づけら

れた、或いは関係の宝物をおさめたので**宝物堂**とも呼ばれた。その後お堂は経緯あつて再び法界寺に寄付する形としていたが、旧跡の維持は困難だったようで、文久2年¹⁸⁶²に「日野誕生講」が結ばれるなど崇敬と護持は真宗門徒が担うことが多かったようだ。明治になって**明如**宗主はここを正式に譲り受けて整備をすすめ、**本願寺「日野別堂」**と公称した。立教開宗七百年を記念して境内整備が進められ、昭和6年¹⁹³¹に落成したときに「日野誕生院」と改めて名称を定めた。

聞歆と日野誕生院

誕生地を調査した学僧・聞歆のお寺に記録が残されていた。それによれば「日野御旧跡開発」したのは文政9年¹⁸²⁶7月という。



広如宗主の御自詠（常元寺蔵）▶



ひらくより
あふぐ意ぞ
猶そゝる
弥陀の
御ふみの
巻のかずく
資矩

▶御茶毘所
（大谷本廟）



城州宇治郡日野の山陰は
高祖聖人降誕の地なり
ひさしく世に しられざりしを
さいつころより長門国常元寺
聞歆 有志の門葉と心を合し
その地に一字をしつらひ
はた石受にも其はしをしるして
我 大谷の流れある輩ハ
いとゞ渴仰の思ひあつく
ここに詣で 佛法弘興の濫觴を
おもひ出るもさハなり
予もつたなき言葉をかきて
聞歆にあたふことしかり
光澤
大御祖こゝにむまれし跡とめて
さかへをミする 日野の山松



山口教区 厚狭西組
常元寺 11世 僧糠 聞歆
速満坊 賜 光壽閣 藤満
(1785 - 1851.6/9 寂)

この頃本山は重大事件が続ぎ、
財政的に著しく窮乏していた事や
本如宗主の示寂も関係するのであ
ろう。聞歆は誕生地の顕彰活動の
先頭に立ち敏腕をふるった。
「内裏の芝」百坪余りの土地を、
法界寺から本願寺に譲渡されるよ
うに取次をしたのも彼である。
広如宗主に「日野の里は久しく
世に知られてなかったが、聞歆が
有志と堂舎を設立し、はたの石に
も由を記した」と言わしめた。
法界寺や日野家との関係も大切
にしたようで、当主の日野一位資
矩卿より文庫（書籍を入れた箱）
及び自詠と添翰が送られている。



▲「六条御殿 御改革図」

天保年間から、本願寺は石田敬起による財政改革を行い、諸国から本山へ上納を懇情した。結果、絵の如きおびだしい献上も始まるが、財政再建や機構改革に大きな成果が出た。

聞歆は三室戸寺の調査や改革にも携わった痕跡が伺われるが、他にも興味深い記述があった。
「文政九戌¹⁸²⁶より文政十亥¹⁸²⁷極月、銀四百六拾八匁ニシテ金八拾両」を「御本廟御借財志？？」上納」。
大谷本廟の飛び地、御茶毘所の取得への関与と思われる。

「親鸞聖人御茶毘所延仁寺御旧跡は二つの異説があった。現在、本願寺派が所有している清水のほとり、ソバツボの茶毘地は当時、他宗派の所有であった。そこで文政十年、長門の門末がその地を買受け寄進したいと申し出て」

『本願寺史』には、長門の者が聖人の茶毘地を買受けて本願寺に寄進する旨があったと記されているので、菊舎のときと同様に働きかけや援助をしたのだろう。



更に「御往生院開発 天保四巳¹⁸³⁴五月より長安山ノ内村ニアリ」という記録まであった。

かつて朱雀大路（今の千本通）の西を長安と云ったことから親鸞入滅地を特定し、角坊が創設されたのは安政四年¹⁸⁵⁷とされている。

しかし聞歆はその20年以上前に遷化地を考証し、開発することに関わっていたようだ。この旧跡も久しく荒廃し、他宗の所有地であったものを本願寺の所有となるようにした場所というので、ほぼ同じ経緯といえよう。

今回、取材をして感じたことは、本願寺は伝説や伝承を排して史実・典拠を追及してきた宗派と言えるが、ある意味で聞歆は逆のアプローチをしていることだ。
各地に残る伝説・伝承を収集して考証を重ねている。しかし、それら由緒のある旧跡が寂れていく現実を見て、本山のために動かれた僧侶だった。又、それに賛同した援助した多くの人々があればこそ今の御旧跡があるのだろう。

News & 活動情報

定期教区会

教区会

去る3月18日(金)、本願寺備後教堂にて令和3年度定期教区会が招集され、上程議案となる財務議決議案9件(令和4年度教区各種会計歳計予算案並びに令和3年度教区各種会計歳計予算補正案)、法規議決議案1件が審議され、満場一致の承認を得て可決された。

門徒総代会

総代会

去る3月16日(水)、「令和3年度備後教区門徒総代会研修会」がふくやま芸術文化ホールリーデンローズ小ホールにて

開催された。新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、午後半日の開催とし、78名が参加した。

「親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要を迎えるにあたって今後の宗門の動きについて」という講題で、宇野哲哉住職(滋賀教区野洲組覚明寺)を講師に迎え行った。

2023(令和5)年にお迎えする慶讃法要に向けて、各寺院の門徒のリーダーである総代として、機運向上を目指せるようにご門主様のご消息や趣意書を参考に講義が行われた。

ハンセン病現地学習会

同朋社会部会

去る、3月25日(金)に長島愛生園を訪ね、「ハンセン病現地学習会」を開催した。

参加者6名は現地集合し、入所者の方から入所当時の状況や思いなどを伺うとともに歴史館でのフィールドワークを通して

て、ハンセン病の実相について学ぶ一日となった。

後期勤式研修会

勤式

3月28日(月)2021(令和3)年度後期勤式研修会を本願寺備後教堂を会場に開催した。講師には、松江長親住職(真宗大谷派明圓寺、准堂衆、修行補)にお越し頂き、「真宗大谷派の勤式」をテーマに講義を頂いた。

限られた時間ではあったが、所作をはじめ、装束・打物・唱えぶりなど多岐に渡りご教示頂き、参加者25名にとつて有意義な研修会となった。

仏壮総会研修会

仏壮

去る、4月10日(日)、「2022(令和4)年度備後教区仏教壮年会連盟総会・研修会」が新型コロナウイルス感染症

教区月報

4月 (April)	10日	仏壮総会・研修会
	11日	教堂常例法座
	13日	仏婦総会・幹部研修会
	15日	ビハークラ備後役員会
	20日	おつとめ教室・勤式練習会
	21日	教務所長会議(オンライン)
	25日	仏婦総連盟総会(オンライン)
	26日	門徒推進員世話人会
	27日	保育連盟総会・全体会
	28日	布教団長・副団長会議
5月 (May)	10日	F M専門委員会
	11日	更生保護小理事会
	12日	門徒推進員世話人会
	13日	教堂常例法座
	17日	布教団役員会
	18日	教区報
	20日	寺族青年野球大会
	26日	おつとめ教室・勤式練習会
	27日	I T専門委員会
6月 (June)	1日	寺婦役員会
	3日	法式法務専門委員会
	10日	教堂参与会研修旅行(2日)
	11日	ビハークラ総会・公開講座

症防止に鑑み、日程を短縮して開催され、34名が参加した。

前半に総会を行い、昨年度の事業報告並びに決算、今年度の事業計画並びに予算の審議を行った。

後半の研修会では、北山祐章連盟講師(沼隈南組光源寺)をお迎えし、「吐く息 吸う息 ナンマンダブツ」という講題のもと、ご自身の経験や、お念仏を称える行者としての振る舞い、阿弥陀様からのお救いのはたらかなどご教示いただいた。

仏教婦人会連盟総会・幹部研修会

仏 婦

去る4月13日(水)、福山芸術文化ホールリーデンドーズ小ホールにて令和4年度仏教婦人会連盟総会・幹部研修会を開催し、教区内各地より105名が参加した。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症対策として、人数制限を設けての午後半日開催となった。

総会では昨年度の事業及び決算報告、本年度の事業計画案並びに予算案について審議可決された。

幹部研修会では、備後教区布教団副団長の田井智彦住職(備中里組蓮乗寺)よりお取り次ぎをいただいた。

参与会研修旅行

参与会

6月1日(水)～2日(木)の2日間、本願寺備後教堂参与会研修旅行を開催した。

本企画は、2023(令和5)年に「親鸞聖人御誕生850・立教開宗800年慶讃法要」を宗門でお迎えするにあたり、機運向上と会員同士の交流を深めるため実施した。

研修旅行は、京都市内にある親鸞聖人ゆかりのご旧跡・本願寺等を巡り、参加者それぞれが親鸞聖人の御誕生を喜ぶ機縁となった。

寺族婦人会連盟総会・研修会

寺 婦

去る6月13日(月)、本願寺備後教堂にて令和4年度寺族婦人会連盟総会研修会を開催し、会員52名が参加した。総会では前年度の事業報告及び会計決算報告、本年度事業計画案、会計予算案について審議し、全会一致で承認された。また任期満了に伴う役員改選を行い、本年度より2年間の新役員が決定した。

総会後の研修会では、本願寺派布教使の田坂亜紀子師(山口教区美和組超専寺)にお越しいただき、ご講題「生かされる、とは」にてお話いただいた。

実践運動教区委員会総会

教区事業推進委員会全体会

実践運動

去る6月17日(金)、本願寺備後教堂にて実践運動局委員会

6日	公聴会
9日	公聴会
11日	教堂常例法座
13日	寺婦総会・研修会
14日	公聴会動画上映会
15日	おとめ教室・勤式練習会
17日	教務所長歓送迎会
20日	布教団総会
21日	布教団夏期布教大会
23日	少年連盟中四国ブロック指導者研修会
24日	第29真宗講座
25日	保育連盟新任補任式研修会
27日	組長会・教区会研修旅行(28日)
29日	更生保護理事会・総会・研修会
30日	第4連区布教使研修会

総会・事業推進委員会全体会を開催した。まず各委員会の役職選任を行ったのち、本年度事業について協議を行った。その後、3部会(同朋社会部会・門信徒部会・広報伝道部会)に分かれての事業確認を行い、最後に全体で情報共有を図った。

新型コロナウイルス感染症の流行により、ここ2年は中止や

規模縮小など、感染症対策を講じた中で行事を開催してきた。

今後もコロナ感染症の状況を注視しながら、できる限り行事開催に向けた準備を進めていくことを確認した。

布教団総会・研修会

布教団

6月20日に布教団総会・研修会を本願寺備後教堂にて開催した。

研修会講師には満井秀城本願寺派勧学(安芸教区佐伯西組西教寺)にお越し頂き、「親鸞聖人御誕生850・立教開宗800年慶讃法要をお迎えするに当たって」をテーマに講義を頂いた。

21日にはお待ち受け布教大会併修夏期布教大会を開き、朝1席目柿原興乗団員、2席目真澄慎一団員、3席目安部恵証副団長が出講。昼席には1席目福岡玄猷団員、そして本講師満井秀城師よりご法話をいただいた。

中・四国ブロック少年連盟指導者研修会

少年連盟

去る6月23日(木)、山陰教区引受にて、令和4年度中・四国ブロック少年連盟研修会が、本願寺山陰教堂教化センターにて開催された。新型コロナウイルス感染症に鑑み、午後半日並びに各教区5名迄という制限の中での開催となった。

「学校で見つける身近な仏教のお話」というテーマで岩義博師(山陰教区川本組法隆寺)と、熊谷修山師(山陰教区三隅組東福寺)2名を迎え講義を受けた。

2名の先生は、実際に学校現場で教鞭をとられていた。学校教育の現在を教わるなかで、浄土真宗のみ教えが今を過ごす子ども達に対し、どのようにアプローチできるかを学んだ。

新任教職員補任式・研修会

保育連盟

去る6月25日(土)、備後教区保育連盟主催にて、新任教職員補任式・研修会が行われ、13名の先生方が受式され、補任状が授与された。

新型コロナウイルス感染症に鑑み、お勤め並びに「浄土真宗のみ教え」の唱和も、黙読にて行われた。

研修会では、枝廣大智師(深津組崇興寺)を講師に迎え、「阿弥様いつでもどこでも私と一緒に」と題し、お聴聞の時間をいただいた。今を生きる身の上において、阿弥様がどのようなにはたらいてくださるのか、生きづらさを抱えながらも生きていかなければならない自分自身の有り様を、解りやすい言葉を用いて教示された。

予報

7月(july)

6日 おつとめ教室・勤式練習会
11日 教堂常例法座
14日 組長会
19日 第2回入権に関する連続研修
20日 仏婦会員研修会
22日 ビハーラ備後やすらぎ講座
26日 中四国まことの保育大学講座(27日)
31日 仏壮夏期研修会

8月(august)

11日 教堂常例法座
18日 第29回真宗講座

9月(september)

5日 ビハーラ活動者のつどい
6日 前期勤式研修会
7日 第4連区議長・所長・組長代表協議会
8日 少年連盟指導者研修会
(ご縁づくり公開講座併催)
11日 教堂常例法座
21日 おつとめ教室・勤式練習会
29日 第4連区青年布教使研修会

教区会・組長会合同研修旅行

去る6月27日(月)～28日

(火)、1泊2日の行程で、教区会・組長会合同での研修旅行を開催し、教区会議員6名、組長6名が参加した。

1日目は、上越市の居多ヶ浜、見真堂、本願寺国府別院、恵信尼公ご廟所、こぶしの里恵信尼さま会館を訪ねた。

2日目は、長野まで移動し、7年に一度の前立本尊御開帳が行われている善光寺を訪ねた。

来年よりお迎えする親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要に向け、浄土真宗のみ教えに出遇う喜びを味わわせていただく研修旅行となった。

備後教区更生保護事業協会総会・研修会

矯正教化

6月29日(水)に、備後教区更生保護事業協会総会・研修会

を開催した。

総会に先立ち、叙勲褒章等の披露も行った。

研修会講師には山田浩司広島保護観察所長にお越し頂き、「更生保護く先駆からこれまで」をテーマに講義を頂いた。

また、福山駐在官事務所より徳久幹之保護観察官に同席いただき、地域の現状について報告を頂いた。

第4連区布教使研修会

布教団

6月30日(木)、山陰教区担当にて第4連区布教使研修会が開催された。

このたびは、新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑みオンラインで第4連区内の各教区教務所を結び、安永雄玄師(築地本願寺宗務長)より「伝える伝道」から「伝わる伝道へ」をテーマに講義を頂き有意義な研修会となった。

敬 弔

お悔やみ申し上げます

「敬称略」

備中里組 大圓寺 衆徒

井元 天晉 (1月21日寂)

芦田組 善行寺 前坊守

堤 正枝 (4月14日寂)

鴨川北組 照専寺 前坊守

佐々木 静香 (4月20日寂)

御調西組 法泉寺 前坊守

小島 富貴子 (5月13日寂)

三次組 覺善寺 坊守

常光 貞子 (5月21日寂)

奥組 浄福寺 住職

山下 義円 (5月21日寂)

沼隈南組 南泉坊 前坊守

岡部 ノリミ (6月2日寂)

香典返礼

ありがとうございます
ございます

比婆組 西念寺様

鴨川北組 照専寺様

三次組 覺善寺様

御調西組 法泉寺様

沼隈南組 南泉坊様

より香典返礼を頂きました。



お坊さんステーション

放送時間

月曜…午後6:10頃

木曜…午後6:10頃

FM77.7MHz FM77.7MHz
Radio BINGO ラジオビंगョ

常例法座

(毎月11日)

出講者(敬称略)

8月

「南無阿弥陀仏のいわれ」

福山市 崇興寺 枝廣大智

9月

「わろからんにつけても(自分がどれほど悪くても)、いよいよ願力を仰ぎまいらせば、自然のこ
とわりにて、柔和忍辱のころも
出でくべし」

三次市 福泉坊 水戸浩文



備龍会野球部 中四国大会準優勝

今回備後教区は開催引き受け担当として、安芸、山口、山陰、四州各教区をお迎えしてホスト役を務めた。始球式は新任の岡寄教務所所長が CARP ○○選手(所長地元福井県出身)のレプリカユニ

フォーム姿で登場し、見事なピッチングを披露、熱戦の火蓋を切った。

ここで、ご存知ない方のために加筆するものだが、現在、備龍会野球部は恐らく発足以来最高のチーム力を誇る。立神義昭監督、一條康洋コーチの指導の下、チームリーダー、若手ルーキー達の成長も目覚ましい。その実力は約15年前、藤原善雄監督の采配により、全国大会準優勝を成し遂げた時代を彷彿させるものである。そして、今回の大会当日はその往年の名選手(?)たちが他教区の助っ人や塁審、グラウンド整備

などで協力し、一丸と成って大会運営を支えた。また、備後教務所職員も陰に日向に携わり、その笑顔が印象的な1日だった。

試合結果は、

1回戦 備龍会 6-0 山陰 / 四州合同。

2回戦 安芸 11-1 山口。

3位決定戦 山陰 / 四州合同 6-5 山口

〈総成績〉

決勝戦 安芸 7-2 備龍会。

優勝 / 安芸 準優勝 / 備龍会 3位 / 山陰四州合同 4位 / 山口

残念ながら、優勝は強豪安芸教区。備龍会野球部は惜しくも準優勝に留まった。しかし、特に第1試合ではチームの魅力を存分に発揮し快勝。

エース山下投手が完投完封勝利。主砲島津のタイムリーヒット。また、久本右翼手、矢追中堅手らの数年に1度レベルの超ファインプレーが連続して飛び出した。足利選手の左翼 93M フェンス直撃弾も衝撃的だった。しかし、決勝戦では安芸教区に敗れ、試合巧者のチームに常勝する為の新たな課題も浮き彫りになった。

「立神監督を優勝胴上げし、府中明浄寺にて歓喜のビールかけを！」を合言葉に、来たる10月6、7日開催予定の京都全国大会に向け更に練習を重ねる備龍会野球部に今後ともご期待頂きたい。

最後になりましたが、今回の大会運営にあたり、多数のご懇志を頂戴しました事、野球部一同感謝を申し上げます。



コロナの影響

響で長らく中断を余儀なくされていた、真宗青年野球中四国大会が3年ぶりに開催された。時は5月17日(火)、場所は尾道市しまなみ球場にて。

FAXTEL (084) 924-5759
(084) 931-6323

「教区報」の編集にあたり、皆様のご意見
ご感想、情報の提供をお待ちしています。
教区報専門委員会まで、ご一報ください。

味わいたいと思う。(T・T)

久方振りに酒盃を傾けた友人が、「呑み屋で『冷や』を注文したら、冷やした酒を持ってきた」と嘆いた。湯呑み茶碗をイメージする冷やと洒落た料理屋が似合う冷酒は、彼のような通からすれば似て非なるものらしい。がしかし、傍からみれば、「酔って呆けられる」効能は何ら変わらない▼従来型の「法座」と「オンライン法座」も、一見すれば似て非なるものである。対面説教はおめかしして構えて聴く一方、モニター越しの説教はステコー丁でも聴ける。しかしこれも、聴聞環境は違えど、「大悲の仏様」のご苦勞話を聞けるといふ効能に差異はない。要は、時と場合と気分次第で使い分ければいいということだ▼本山法要の団参割り当て人数のあまりの少なさに驚愕したが、まさか、オンライン参拝の奨励にシフトしているわけではあるまい。自宅で称えるお念仏も、御堂で隣人の息遣いを感じつつ申すお念仏も、共に有り難い。こういう時代だからこそ、双方に軸足を下ろし、じっくり御法を

編集後記